

<今月の表紙>

ロボットになろう!



段ボールを使ってロボットづくりに挑戦するワークショップ「ロボットになろう!」が12月12日、めんこい美術館で開かれました。参加した子どもたちは、保護者らの手を借りながら、クラフトテープや折り紙などで飾り付けを行い、世界に一つだけのロボットを作成。完成したロボットの中に入ると、目を輝かせながら満面の笑みを見せていました。

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 令和3年 奥州市長 新年の抱負
- 4 新型コロナウイルス感染症関係の情報
- 6 今年は丑年です
- 7 男女共同参画
- 8 投票所を見直します
- 10 街diary
- 12 ILC希望のひかり  
節目人間ドックの申し込みを開始します
- 13 まなびの里
- 14 もっと安心 ずっとおうしゅう  
はい、こちら総合相談室
- 15 子そだて広場
- 16 インフォメーション
- 20 奥州遺産

# 令和3年 奥州市長 新年の抱負

新年あけましておめでと  
うございます。

今年は、東日本大震災から10年が経過する節目の年となります。防災に対する市民の皆さまの意識が大きく変わり、日頃から地震、水害などの災害に対する備えが強く叫ばれるようになりました。

市としても、そうした市民ニーズに答えられるよう、国が定める国土強靭化の方針に基づき、災害リスクを減らすための施策を推進し、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

スの感染拡大により、市民生活に大きな影響が生じることとなり、我々がこれまで経験したことがないことであり、国や県と連携しながら手探りで対応を迫られている状況です。

市民生活や地域経済への対策としては、国の交付金などを活用し、感染症対策に必要な経費に対する支援や、生活困窮者などへの支援、地域経済の停滞を防ぎ、下支えするための各種施策を行ってまいりました。

今後も各団体などから寄せられている要望を踏まえ、真に必要な支援が行き届くよう取り組んでまいります。

組んでまいります。

総合計画については、今年で10年間の計画期間の折り返しを迎えます。前期計画の実績・成果を検証した上で、今後5年間の市勢発展の方向性を示す後期基本計画を策定してまいります。

戦略プロジェクトに掲げる「ILCプロジェクト」については、ILC準備研究所の設立に向けた研究者組織が立ち上がるなど、実現へ向けた国際的な動きが加速しております。本市としても、積極的に誘致活動に取り組んでまいります。

もう一つのプロジェクトである「人口プロジェクト」については、昨年度末に策定した「第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少対策に取り組んでいます。移住・定住促進に加え、ふるさと納税などを契機とした奥州ファンの開拓や、民間企業との協働などを推進し、より実効性のある施策を展開してまいります。

将来を担う子どもたちのた



なるけ・ゆうき  
©平成4年、神奈川県生まれ。小学生のころから奥州前沢劇場の舞台に立ち、昨年の小劇場では演出を経験。セブンイレブン勤務。両親と弟、妹の5人家族。

間と「次回まで1年長いね」と話した。この間に、若い世代の人材育成の場があれば、この思いが、前沢小劇場の立ち上げにつながり、昨年10月の公演となった。「参加する人も見る人も、気軽に足を運んでもらい、楽しさを知ってもらえたら」と勇氣さん。今年の「幅広い世代の交流が劇場の魅力」「劇場が前沢の一つの文化として根付いてほしい。その盛り上げ役になれば」と笑顔がはじけた。

前沢ふれあいセンターの楽屋で。第2回前沢小劇場は2月20日と21日の各2回公演。「より良いものを」と意気込む

「幅広い世代の交流が劇場の魅力」「劇場が前沢の一つの文化として根付いてほしい。その盛り上げ役になれば」と笑顔がはじけた。

めにも、財政の健全化は急務であり、公共施設等総合管理計画を着実に推進するため、今後40年間を見据えた行政サービスの提供と公共施設のあり方を、市民と行政が一体となって考えていかなければなりません。ひめかゆ温泉や衣川荘については、民間委譲を進めることで事業の継続を目指すとともに、活性化を図ってまいります。

財政健全化や行革を進める上で、やむを得ず市民の皆さまのご負担が増える場面も想定されますが、市民団体の発案である水沢江刺駅の発車メロディーを協働の取り組みにより実現させたように、皆さまと力を合わせることでこの難局を乗り越え、より良いまちを目指してまいります。

結びになりますが、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし、本市の発展のため、より一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

奥州市長

小沢昌記